

2023年12月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年度同月取扱高	2019年度同月比
海外旅行	21,772,482	9,779,091	222.6%	32,771,252	66.4%
国内旅行	3,160,858	4,861,867	65.0%	3,821,636	82.7%
訪日旅行	747,994	345,343	216.6%	2,680,549	27.9%
合計	25,681,336	14,986,303	171.4%	39,273,438	65.4%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするともに、2019年度同月比（2018年12月）を記載しております。

■海外旅行

HIS 最大規模のセールである「初夢フェア 2024」を12月22日より開催。「HISで初めて旅行のご成約をいただくと、旅行代金を最大10,000円引」といった施策を展開するなど、海外旅行の需要喚起に努めました。

取扱高においては、燃油サーチャージの高騰をはじめ、現地の物価高や円安基調もあり、2019年度同月比で66.4%と、先月に比べ回復の鈍化がみられました。一方で、韓国が7ヶ月連続2019年度同月比を上回り、引き続き好調に推移しました。また、ヨーロッパ方面が2019年度同月比92.4%と着実な回復をみせており、特に添乗員同行ツアーが好調なイタリア・フランスが2019年同月比を上回るなど、取扱高を牽引しました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比222.6%、2019年度同月比66.4%の217億7,248万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年度同月比
アジア	64.6%
オセアニア・南太平洋	79.9%
ハワイ・ミクロネシア	49.1%
欧州・中近東・アフリカ	91.1%
北米・中南米	67.6%

商品別	2019年度同月比
手配旅行	69.8%
企画旅行	60.3%

チャネル別	2019年度同月比
店舗	53.5%
オンライン	91.6%

■国内旅行

HIS「初夢フェア 2024」の特別施策として、総額1億円の「初夢ウルトラクーポン（旅行代金から最大20%割引）」を実施するなど、国内旅行の需要喚起に努めました。取扱高においては、前期好調だった「全国旅行支援」効果からの反動減に加え、本格的なスキーシーズンを迎えるなか、暖冬の影響による各スキー場の開業の遅れもあり、前年・2019年度各同月比において下回りました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比65.0%、2019年度同月比82.7%の31億6,085万円となりました。

■訪日旅行

訪日外国人旅行者にむけた関東発着のバスツアーが、前年比4.6倍のご利用人数となるなど、好調に推移しました。特に東南アジア、香港、台湾からのお客様が多く、主力の富士山を含んだコースに加え、長野県の温泉も楽しみながら、温泉に入りに来るニホンザルに会いに行くツアーを新たに展開するなど、好調に推移しました。また年末年始には、ベトナムから仙台へのチャーター便の受入を実施するなど、HISベトナム法人と連携しインバウンド観光推進を図りました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比216.6%、2019年度同月比27.9%の7億4,799万円となりました。

2023年12月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比171.4%、2019年度同月比65.4%の256億8,133万円となりました。

2023年12月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年度同月取扱高	2019年度同月比
インバウンド	8,914,785	4,541,085	196.3%	11,887,081	75.0%
アウトバウンド	14,388,661	12,820,018	112.2%	6,467,966	222.5%
合計	23,303,44	17,361,104	134.2%	18,355,047	127.0%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、Merit Travel、Jonview Canada、Red Label Vacations) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2023 年のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年度同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※海外における旅行事業は7月期決算のため、2019 年度は 2018 年 12 月の業績を比較対象としております。

■ 海外インバウンド

HIS 海外現地法人のインバウンド事業において、ベトナム法人は、年末のチャーター便の受入れを 3 本受注し、現地オプションツアーの需要を確実に取り込み、前年同月比 451.7%と取扱高の回復に貢献しました。またドバイ法人では、年末の旅行需要と同月に行われた国際会議に伴う宿泊や移動関連の手配受注増により、前年同月比 567.6%と中近東アフリカ地域のインバウンド取扱高を牽引しました。カナダ法人の「Jonview Canada (※1)」は、団体業務渡航需要を捉え、前年同月比 114.7%、2019 年度同月比 143.2%と好調に推移しました。また、「Group MIKI Holdings (※2)」は、コロナ禍からの回復傾向がみられる日本市場において、欧州行き主催団体旅行の需要を確実に捉え、前年比 168.8%と海外インバウンド事業の取扱高を牽引しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 196.3%、2019 年度同月比 75.0%の 89 億 1,478 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

HIS 海外現地法人のアウトバウンド事業では、定期的に日本行きのツアーを展開するハワイ法人が、今月も募集型企画旅行を実施し、前年同月比 152.4%と好調に推移しました。また、B2C 以外にも業務渡航や修学旅行といった B2B セールスを強化しているメキシコ法人は、現地マーケットのインセンティブ旅行の需要に応え、前年同月比 155.5%と、先月に引き続き取扱高に貢献しました。カナダ法人の「Red Label Vacations (※3)」は、冬季シーズンにおける中米・カリブ行きといった温暖な地域への旅行需要が高く、前年同月比 113.2%と、海外アウトバウンド事業の取扱高を牽引しました。(2019 年度同月は連結対象外)

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 112.2%、2019 年度同月比 222.5%の 143 億 8,866 万円となりました。

2023 年 12 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 134.2%、2019 年度同月比 127.0%の 233 億 344 万円となりました。

(※1)「Jonview Canada」(連結対象：2017 年 12 月～)

カナダを代表するツアーオペレーターとして、欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開。世界中の旅行業向けの商品やサービスを多数提供し、30 年以上にわたり事業展開する中で、カナダ国内の 2,000 以上を超えるサプライヤーと提携。8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

(※2)「Group MIKI Holdings」(連結対象：2017 年 5 月～)

欧州並びに日本を含むアジア各国の 30 都市以上で事業展開するグローバルツアーオペレーター。サプライヤーとの強い信頼関係に基づく確かな仕入と、きめ細やかな手配力・現地を知り尽くした企画力で、世界中の旅行会社の安心・安全・高品質な旅作りを実現。

(※3)「Red Label Vacations」(連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
広報室：050-1746-4177